

科目名		9. 介護の基本Ⅱ	
担当講師	小林・田口	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	2 学年 通年
評価基準	筆記試験 (100%)		
目 標	<p>◎国家資格「介護福祉士」について、資格が誕生した経緯や求められる職業意識・職業倫理、そして介護福祉士の法的根拠を理解する。</p> <p>◎介護サービスとは何かを考え、介護サービスの質と安定性を確保するしくみであるケアマネジメントの概要を理解する。</p> <p>◎介護の現場では利用者を取り巻く、さまざまな形の連携があり、そこにかかわる関連職種や機関の特性や実際の連携例を理解し、チームケアを担う介護職になれるように理解する。</p> <p>◎介護におけるリスクマネジメントの考え方を理解し、介護場面での事故および感染対策の実際や具体的な手法について理解する。</p> <p>◎介護を行う人自身の健康を守るため、こころとからだの両面から健康管理に必要な基礎知識と技術を身につける。</p>		
回	講 義 内 容	方 法	
1	私たちの生活の理解 (小林)	講 義	
2	<u>介護福祉を必要とする人たちの暮らし①</u> (高齢者) (小林)	講 義	
3	<u>介護福祉を必要とする人たちの暮らし②</u> (障害者) (小林)	講 義	
4	<u>「その人らしさ」と「生活ニーズ」</u> の理解 (小林)	講 義	
5	<u>生活のしづらさの理解とその支援①</u> (小林)	講 義	
6	<u>生活のしづらさの理解とその支援②</u> (小林)	講 義	
7	<u>生活を支えるフォーマルサービス</u> (社会的サービス) とは① (小林)	講 義	
8	<u>生活を支えるフォーマルサービス</u> (社会的サービス) とは② (小林)	講 義	
9	<u>生活を支えるフォーマルサービス</u> (社会的サービス) とは③ (小林)	講 義	
10	<u>生活を支えるインフォーマルサービス</u> (私的サービス) とは (小林)	講 義	
11	<u>地域連携の意義と目的</u> (小林)	講 義	
12	<u>地域連携にかかわる機関の理解①</u> (小林)	講 義	
13	<u>地域連携にかかわる機関の理解②</u> (小林)	講 義	

回	講 義 内 容	方 法
14	利用者を取り巻く <u>地域連携の実際</u> ・試験前の復習 (小林)	講 義
15	前期筆記試験 (50%)・前期まとめ (小林)	試験・講義
16	<u>他職種連携①</u> (他職種連携の意義と目的、協働職種の理解と連携のあり方) (田口)	講 義
17	<u>他職種連携②</u> (利用者を取り巻く他職種連携の実際) (田口)	講 義
18	<u>地域連携①</u> (地域連携の意義と目的) (田口)	講 義
19	<u>地域連携②</u> (地域連携にかかわる機関の理解、利用者を取り巻く地域連携の実際) (田口)	講 義
20	<u>介護における安全の確保</u> (介護における安全の確保の重要性、安全確保のためのリスクマネジメント) (田口)	講 義
21	<u>事故防止と安全対策</u> (田口)	講 義
22	<u>感染管理のための方策①</u> (生活の場での感染対策、高齢者介護施設と感染対策) (田口)	講 義
23	<u>感染管理のための方策②</u> (感染対策とリスクマネジメント、感染対策の基礎知識、感染症発生時の対応) (田口)	講 義
24	<u>健康管理の意義と目的</u> (介護という仕事の特徴、介護職の健康と介護の質) (田口)	講 義
25	<u>健康管理に必要な知識と技術①</u> (こころの健康管理、燃え尽き症候群) (田口)	講 義
26	<u>健康管理に必要な知識と技術②</u> (からだの健康管理、腰痛対策) (田口)	講 義
27	<u>安心して働ける環境づくり</u> (労働環境の整備、労働環境の改善、労働安全の基本原則) (田口)	講 義
28	<u>介護を取り巻く状況の変化と自身の学び方</u> ・専門職業人としての介護福祉士 (田口)	講 義
29	介護の基本Ⅱまとめ (田口)	講 義
30	後期筆記試験 (50%)・後期まとめ (田口)	試験・講義
	テキスト・参考書	最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ その他必要に応じて資料配布予定